

# え？学校って楽しくないといけないの？！っていうかみんな、楽しいから学校に来てるの？！

保健室ではいろいろな相談や悩みを聞くことがあります。

「最近体調が悪い。友だちとうまくいかない。彼氏や彼女とうまくいかない。彼氏や彼女と別れた。家庭でいろいろと大変な問題がある。進路で困っている。」なかには、いじめや虐待、大きな病気の心配がある…などということで、すぐに別の人に相談したり、助けてもらったりしないといけないようなものもあります。が…

実は一番多い悩みは「学校が楽しくない。だからやめたい。だから来たくない」かもしれません。そんなときに私が言う質問が

「え？学校って楽しくないといけないの？」と  
「みんな、楽しいから学校に来てるの？」です。



少なくとも私が知っている限りでは「3年間ず～っと学校は楽しかった！！！」という人はあまり知らないけれど、「学校楽しい！！！」と言っていたのに、彼氏や彼女と別れた、仲が良かった人が学校辞めた、来なくなった、友だちとうまくいなくなった…「だから学校は楽しくない。もう学校やめたい。」と急に変わる人はたくさん見てきました。



もちろん、学校は勉強しに来るところだから、楽しくなくて当たり前！などというつもりはありません。ただ、楽しいか楽しくないかを自分の行動の基準にしていると、ちょっと自分にとっていやなことがあるとすぐにやめてしまったり、がんばれなくなってしまうので、この橘高校にいる間に「楽しいか楽しくないか」ではない基準を、見つけてほしいと思うのです。

今の時代は、小さいときから「楽しませてもらうこと」が当たり前の時代です。つまらないな～ひまだな～と思っても、ゲームのスイッチを入れれば何もなくても楽しませてくれます。パソコンやスマホをつければ、自分が見たい動画だけを、一日中見ていることができます。お店に行けば店員さんがとても親切に接してくれるし、テーマパークに行けば、普段味わえないような楽しいことが次々と起きます。

キャストの人たちも、自分たちを楽しませるために、嫌な思いをしなくてすむように気を使ってくれます。自分が特別に努力しなくても、自分が楽しいと思えるものを手に入れることができますが、それは、世の中の人を楽しませることだけを一生懸命考えたり、楽しませることを仕事にしている人たちがたくさんいるからです。



では学校はどうでしょうか？

家だったら、やりたくなければやらなくていい勉強を、必ずやらなければいけません。しかも家なら、疲れたらゴロゴロすればいい、あきてしまったら途中でやめてしまえばいいのに、授業は50分間続けなければいけません。普段なら、やりたいもの、好きなこと、見たいもの、聞きたいものだけをやればいい、聞けばいいのに、学校ではやりたくないこと、嫌いなこと、見たくないもの、聞きたくないものをやらなければいけません。

ネットの世界なら、嫌な人や苦手な人とは話さなくていいし、嫌なら電源を切れればいいし、一緒に何かをしたりしなくてもいいのに、学校では嫌いな人、苦手な人の隣の席になったり、同じ班になったりして、関わらなくてはいけないこともあります。



服装だって、普段なら好きな服を着て、化粧をしたければできるし、おしゃれも自由にできますが、学校では決まった制服を、決まったルールで着なければなりません。人間関係だって、好きな人、友だちと同じクラスになりたいけど、クラスメイトも、担任も選ぶこともできません。朝だって、眠くても起きて学校に行かないと遅刻になるし、行くのがめんどうくさいな、今日は休んじゃおう！と思っ

て休めば、進級や卒業に関わることもあります。

そもそも学校にある「楽しいこと」って、あまり思い浮かびません。

ちょっと昔、スマホやインターネット、ゲームやビデオ、ユーチューブが無い時代は、家にいても屋間のテレビ番組は子どもが見るものはほとんどないし、ゲームといっても一人でできるものは少ないし、家族以外と話がしたくても、家には電話は1台しかないから自由に話ができない。それならまだ学校に行ってるほうが楽しいかな…と思っていたのかもしれませんが、今はほかに人とつながる方法や時間をつ

ぶす方法がたくさんあるので、それも学校に来る「楽しさ」につながらないかもしれません。

だから今の時代、「学校」に「楽しさ」を求めるのは、そもそも無理じゃないの？！と私は思うのです。



ではなぜみんな学校に来ているのでしょうか？「みんな行ってるから」「親に行行って言われるから」「高校卒業しないと就職できないから」「行かないと恥ずかしいから」「家に居場所がないから」「学校に友達がいるから」「好きな人がいるから」「専門学校や大学に進学したいから」そして「学校が楽しいから」という人もいます。

または勉強は嫌いだけど部活が楽しい、あの授業は、あの先生は好きだ、時々楽しいことがあるから…という人もいます。もし学校に行きたくない理由が「学校が楽しくないから」だとしたら、「学校が楽しくなること」や「楽しくないけど学校に行く理由」を見つけられるのは、残念ながらその人にしかできません。先生たちは、みんなが勉強がわかるように、みんなが社会に出るときに困らないようにいろんなことを教えるとか、つらい思いや大変な思い、困っているときの手助けをすることはできても、「楽しませてあげるための努力」は難しいからです。というよりも、楽しみを自分でみつけたり、楽しさ以外のやりがいや目標を見つけたり、楽しみややりがいを見つけられないときにも、やるべきことをやり通す力こそ、社会に出る前に学校で学んでほしいと思うのです。

それは、社会に出たら楽しいことより楽しくないこと、やりたいことよりもやらなければいけないことのほうが多いかもしれないし、好きな人や自分と気の合う人と過ごす時間よりも、友だちでもない、仲良しでもない人と過ごす時間の方が長いかもしれません。もしかすると、一人でやる仕事や作業のほうが多い人もいます。



でもそんなとき、楽しくないからやりたくない、やりたいことをやれないからやめる…ではなく、最初は楽しくなかったけれど、こういうことをしたら楽しかった、うまくいった、ほめられた、やりがいをみつけられたとか、最初はやりたいことをやれなかったけど、だんだんいろいろな仕事をさせてもらえるようになった、やりたくないと思っていたけど、やってみたら楽しかった…最初はあの人が苦手だったけど、関わるうちに仲良くなった、やっぱり苦手だけど、距離をとってつきあえるようになった…

そんな風に、楽しいからやる、楽しくないからやらない、やりたいからやる、やりたくないからやらない、好きだから仲良くする、嫌いだから関わらない…ではない、自分の気の持ち方や周りの人との付き合い方、嫌な時間、やる気が出ないときのすごしかたを学ぶことが、実は学校では一番大切なのではないかと私は思っています。

ただ、最初は「楽しくないから」と言っていたのに、話を聞いているうちに気がついていなかった悩みや気持ち、本当は学校が好き、本当は学校に来たいのに、来られないで苦しい…という気持ちに気がつくことも少なくありません。だから、「学校楽しくないな」と思ったときには自分で自分に「なぜ楽しくないか」「どうすれば楽しいと思えるのか」を聞いてみましょう。それでも答えが見つからないとき、または「理由はともかく学校に来れない」ときはぜひ先生や保健室に相談してみましょう。自分でも気がつかなかった本当の理由や解決方法に気がつくかもしれないし、先生たちからなにかヒントがもらえるかもしれないし、具体的に困っていることがあれば、その解決方法を一緒に考えることができます。

保健室でも、あなたにこの上尾橘高校で進級卒業をめざしてほしいと願っているの、あなたにとって何が一番大切なのか、必要なことは何か、どうしたら楽になれるのかを一緒に考えてみましょう。

